

◆ 令和2年度の方針と内容(案)

昨年度の実績

○ 同窓生同士の絆を育む総会・懇親会の開催		
計画時に記した内容	主な実績	主な成果(◎) 課題・展望(□)
<p>1 計画・実施・運営等への工夫や努力を通じて、本会事業への関心を高め、一層の親睦を深められるようにしていく。</p> <p>2 実行委員会をはじめとする運営組織体制の工夫と充実を図り、効果的な実施を継続していきけるようにしていく。</p>	<p>○全会員への通信(記録・案内)送付(発送数10664部)</p> <p>○参加者数108名(一枚4,000円)</p> <p>○広告協賛収入2,357,000円</p> <p>○演出 太鼓演奏 「阿羅漢」 MC 佐藤ドミンゴ 小野田尚代</p> <p>○総会当日での次年度引継ぎ会議の開催</p> <p>○各世代の参加者を通じた今後の当番体制への啓発</p>	<p>◎当番学年による、演出の工夫等への精力的な取組、熱意ある会員の参加</p> <p>◎準備運営ノウハウの整理蓄積や引継手順等の工夫</p> <p>◎通信による告知</p> <p>□幅広い参加への取組</p> <p>□円滑な分担・協業・引継ぎの一層の継続</p>

○ 持続的な母校支援に関する検討と実施		
計画時に記した内容	主な実績	主な成果(◎)・課題他(□)
<p>1 母校のニーズに応じた支援の継続実施を図る。</p> <p>2 今後持続的に母校支援を行っていくための方法について検討し、見直しを持つ。</p>	<p>○母校支援費による母校の部活動、学習活動、ワゴン車リース等への支援の継続</p> <p>○入会及び入会金積立納付の同意確認を通じた、在校生・保護者への活動の周知</p> <p>○総会での説明等を通じた、支援実績、財源確保の必要性等の周知</p> <p>○生徒数の減少傾向等を勘案した入会金額改定等、財源確保に向けた検討</p>	<p>◎母校のニーズに応じた各支援の実施</p> <p>□昨年度作成の広報チラシ等を通じた本会事業や母校支援に関する周知、アピールの推進</p> <p>□今後の財源確保に向けた、入会金額改定等に係る検討の継続</p>

○ 今後を見据えた組織体制づくり		
計画時に記した内容	主な実績	主な成果(◎)・課題他(□)
<p>1 昨年度確立した新しい組織体制のもと諸会議、諸事業を実施し、今後の持続的な組織運営を図る。</p> <p>2 専門部等の各分掌内容について、通年の実績をふまえながら精査を重ね、効果的な組織運営の実現を図る。</p>	<p>○執行部会、常任理事会、理事会による組織的・段階的な協議、検討の推進。</p> <p>○各専門部の業務内容の精査や、今後への課題解決に向けた具体策の計画・実施の推進</p>	<p>◎新しい組織構成による諸会議、諸事業の推進</p> <p>□各専門部による具体策の一層の推進</p> <p>□組織内のスムーズな協業、連絡体制を充実させるための工夫</p>

専門部等の取組	
専門部	
○総務	
1	会務全般に係る基本的な年間計画等の整備
2	「総会・懇親会」準備作業等のガイドライン制作に係る検討
3	諸会議、各専門部等に係る通信連絡方法の工夫に係る取組
○広報・企画	
1	「同窓会通信」制作に係る検討と準備
2	同窓会活動内容の紹介チラシ等の作成・配付
3	ホームページ上の寄付金受付ページ・バナー広告に係る検討
4	ホームページのバージョンアップ、スマホ版の作成等に係る検討
○会計	
1	総会・懇親会の準備運営に係る会計管理方法等についての取組
2	総会費用専用通帳の準備・開帳等に係る取組
3	総会余剰金の扱いに係る取組
○渉外	
1	ホームページや情報誌等を活用した、地域・職域・趣味等による同窓生のネットワークづくり
2	過去の総会協賛広告主データ、他校同窓会の情報の整理・収集
3	母校支援等に係る母校・外部との連絡調整体制、情報保護の方策等に係る取組
女性部	
1	女性会員同士の交流・親睦をはかるための情報交換会等に係る取組
2	女性目線での意見や男女共同参画の考え方を活かした同窓会運営、母校支援等に係る取組

●令和2年度の方針・内容の策定にあたって ～新型コロナウイルス感染拡大への対応をふまえて～

世界規模で対応が求められている新型コロナウイルス感染拡大については、4月以降も全国への緊急事態宣言が発令・延長され

るなど、取束が見通せない状況が続く、人々の活動が極度に制限されています。こうした中、本会も例年と同様に諸会議、諸事業を行っていくことは極めて困難です。本年度の方針・内容の当初計画は、必要最低限の事項を確実に実施するようにするとともに年度内の活動にあたっては、事態の推移をみながら柔軟かつ迅速な対応に努めていくことを基調とし、以下の通りとします。

本年度の方針等

○ 諸会議の工夫と次年度総会・懇親会の計画・準備	
内容	主な活動
<p>1 方法を工夫して、会務遂行のための諸会議を行い、総会については、理事会をもってかえ、その結果は各種媒体を通じて会員に周知する。</p> <p>2 本年度総会・懇親会担当予定の実行委員会は、次年度を担当し、役員と連携して、計画と準備を進めていく。</p>	<p>○紙上会議等の形も一部取り入れた諸会議（執行部会、常任理事会、理事会）の実施、ならびに総会での報告・審議事項に相当する内容の確定</p> <p>○新聞広告、同窓会通信、本会 HP 等を通じた、諸会議の進捗・結果の周知</p> <p>○新型コロナウイルスに係る状況の推移をふまえた、次年度総会・懇親会に係る計画と準備</p> <p>○役員組織と実行委員会との緊密な連携</p>
○ 持続的な母校支援に関する検討と実施	
内容	主な活動
<p>1 母校のニーズに応じた支援を継続する。</p> <p>2 今後持続的に母校支援を行っていくための方法について検討し、見通しを持つ。</p>	<p>○例年の支援計画に基づく母校支援（母校支援費による部活動、学習活動、ワゴン車リース等への支援等）</p> <p>○新型コロナウイルスへの対応に関わる母校支援への可能性への検討</p> <p>○母校との協議・連絡を通じた今後の支援の見直し</p> <p>○本会会員、在校生、保護者への本会支援事業の周知</p> <p>○入会金額改定、寄付金・支援金を集める仕組み等、母校支援への財源確保に向けた具体的な方策の検討</p>
○ 今後の組織体制の充実にむけた検討	
内容	主な活動
<p>1 各専門部の今後の諸事業を展望し、その計画、内容、方法について見通しを持つ。</p> <p>2 方法を工夫して、組織内の連絡体制の充実に図る。</p>	<p>○各専門部の諸会議、諸事業に関する、計画・実施・評価・改善のサイクルの見直し</p> <p>○オンライン上の媒体・仕組み等も取り入れた、円滑で効果的な情報交流、連絡協議の方法に関する検討</p>

専門部等の取組	
専門部	
○総務	
<p>1 新型コロナウイルスへの対応もふまえた会務全般の連絡調整および進捗管理</p> <p>2 「総会・懇親会」準備作業等のガイドライン制作に係る検討</p> <p>3 諸会議、各専門部等に係る通信連絡方法の工夫に係る取組</p>	
○広報・企画	
<p>1 総会・懇親会を例年通り実施しないこと、諸会議の進捗・結果に関する会員への周知の取組</p> <p>2 同窓会活動内容の紹介チラシ等に係る取組</p> <p>3 ホームページ上の寄付金受付ページ・バナー広告に係る検討</p> <p>4 ホームページのバージョンアップ、スマホ版の作成等に係る検討</p>	
○会計	
<p>1 財源確保に向けた入会金改定等に係る検討</p> <p>2 総会・懇親会の準備運営に係る会計管理方法等についての取組</p> <p>3 総会費用専用通帳の運用等に係る取組</p>	
○渉外	
<p>1 総会・懇親会を例年通り実施しないことに関する従前の総会協賛広告主への周知、他校同窓会との連携などの取組</p> <p>2 地域・職域・趣味等による同窓生のネットワークづくりの検討</p> <p>3 母校支援等に係る母校・外部との連絡体制、情報保護の方策等に係る取組</p>	
女性部	
<p>1 女性会員同士の交流・親睦をはかるための情報交換会等に係る取組</p> <p>2 女性目線での意見や男女共同参画の考え方を活かした同窓会運営、母校支援等に係る取組</p>	